# 中央執行委員長あいさつ(要旨) |仲間と共に「安全・健康・ゆとり」を守るため、組織強化・拡大を実現していこう!

中央執行委員長 佐藤英樹

### 組織強化・拡大のために を深めていこう

拡大」です。 JR東労組の最大の課題は、「組織強化

ることはできないと思います。 か」または「施策が実施されることに対す 離脱者の言葉には、どの様な意味が含まれ る将来への不安」があります。そういった JR東労組は変わっていないのではない 労組を脱退する理由の一つに「18春闘から ってきましたが、残念ながら現在もJR東 組織拡大と声高に叫んだとしても、 ているのかということを掴むことなしに、 これまで18春闘や21春闘などで総括を行

り返し、捉え返していかなければ、 のか」「18春闘や21春闘も総括したような の腹に措いて、自分の言葉で対話している ひとりが18春闘はなぜ敗北したのか、自分 重要だとわかっているけど、「私たち一人 傾ける、目線を一緒にするということは、 日々苦労されています。組合員の声に耳を 執行部の皆さんや、各地方本部の皆さんも 雰囲気になっていないか」ということを繰 再建を果たした水戸や東京、八王子地本

を深めることはできないのではないかと思 身の言葉で組合員や離脱者の皆さんと議論

### います。 現実から目を背けることなく 課題克服をめざし奮闘しよう

突破できないと考えています。 かなければ、「諦め感や仕方なさ」などは とつ議論を積み重ねて課題を乗り越えてい を掴み、そこを出発点にしながら、一つひ のたたかいで多くの仲間が口にした「諦め を組合員と不断に一致させるということが 部・支部・分会など、その場における現実 脱者がどの様に感じているのか」各地方本 そう容易くありません。常に「組合員・離 があるということです。21春闘や期末手当 銘じなければならないのは、常に「現実」 重要です。しかし、中央本部も含めて肝に 感や仕方なさ」を克服するということは、 私たちは、議事録確認における内容など

き合い、組合員・社員の要求に応えるべき る日々の奮闘や努力に対して、しっかり向 強いるのではなく、赤字とコロナ禍におけ 会社は、「下半期黒字に向けた我慢」を 21春闘敗北の教訓を抽象的に語るの

> 組織強化・拡大の実現に向けて、組合員 で現実に立ち向かい、実践的に課題を克服 ではなく、「抵抗とヒューマニズム」の精神 丸となって奮闘しようではありませんか。 しながら、JR東労組は、22春闘要求実現と

### JR総連春闘スローガンのもと、

き上げ2%程度の連合方針に基づいて2% 各単組と固く連帯してたたかっていきま たたかいを教訓化し、JR総連に加盟する 合労働条件改善の要求実現をめざします。 組は、今定期中央委員会において、JR総 5連協の平均基準内賃金をベースに賃金引 労組として21春闘敗北や期末手当における 決など、具体的に申し入れを行うと共に総 要求します。また、定期昇給の完全実施、21 連方針に基づき "ベアー律6000円" を 6000円要求を決定しました。 JR東労 定期中央委員会」では、鉄道5単組および 春闘における「定期昇給」カットの課題解 JR総連春闘スローガンのもと、JR東 →月28日に開催されたJR総連「第4日

経団連・十倉会長は、「天然資源に乏し

### 22春闘をたたかおう

って、22春闘は、春闘のたたかいの灯を消 のような先駆けが、トヨタ自動車と全トヨ 経営側の基本スタンスを示しています。こ として発信していくことが望まれるとした 争』ではなく、春季労使『交渉・協議』」 中へ周知していくために「春季生活『闘 検討することが現実的であり、様々な事項 自社の置かれている状況を共有した上で、 について広く議論する場であることを世の タ労連の労使関係ではないでしょうか。 従 一律ではなく、個々の企業に適した対応を また、経労委報告では、連合方針にも触 2022春季労使交渉は、 企業労使で

いわが国では、『ヒト』が最も重要な経営

切に『分配』する」と述べています。岸田 よって、『成長』を実現し、その成果を適 とを求めています。 を展望しながら、労使議論を積み重ねるこ は、賃上げというより、総額人件費とし 投資をしながら経済を発展させるために 連と軌を一にしているものであり、人への て、賃金制度や評価制度、退職制度見直し 首相が述べる成長と分配は、基本的に経団 企業にとって特に重要な価値協創に

えています。業務の融合で乗務員 織の再編」における私たちのポイン ということを見れば、「柔軟な働き方と組 提に労働時間規制改革を強く要望している 点だと感じます。経団連は、健康 り、「変革2027」における一つの到達 高めることにあるのではないでし はなく、社員の「稼ぐ」というマ ング部の発足や、現場への権限移譲だけで るのか。それは「稼ぐ」ためにマ 組織の再編は、社員の更なる意識 "安全と労働時間管理"ではない

とを肝に銘じなければなりません。 させないためのたたかいでもあるというこ

差し、全組合員一丸となってたたかってい 求実現と同時に「春闘」の意義を職場に根 げることが重要です。私たちは、 くてはなりません。否定的現実を突破する なく、危機感をもって立ち向かって こうではありませんか。 ために、組合員一人ひとりの実践 私たちは厳しい現実から目を背けること

### 「安全・健康・ゆとり」を守り、 未来を切りば

ればなりません。 を向けて、組織的な視点で議論を深めなけ とは当然のことだと思いますが、 赤字である以上、黒字を目指すというこ 現実に目

「組織の再編」では、何が目指す 更には副業などが含まれてくると、労 インドを いかと考 確保を前 変革であ いょうか。 ーケティ されてい ントは、

働時間を自己管理することは、今後、

くなってくるのではないでしょうか。

安全や労働環境改善、組合員・社員の健

22春闘要 ていかな を積み上

康・ゆとり」です。JR東労組組合員が過

めるにあたって重要なことは、「安全・健 康管理ということを考えた場合、施策を進

半数代表者選挙に立候補し、勝利をめざす

### 拓こう いていこうではありませんか。 かいを構想し、組合員と共に未来を切り拓 安心して暮らせる社会を

めざそう

それぞれの組織実態に照らし合わせてたた ことや、「新たな施策に対する5本柱」を

7割以上が沖縄に集中する現実は今もな 述べています。1972年5月15日に沖縄 ちんと位置づけ、『自衛隊違憲論』を解消 50年が経過します。しかし、半世紀を超え 衛力を整備していかなければならない」と います。読売新聞では、「日本を取り巻く 意思表示するうねりをつくり出そうではあ 皆さんとの連携を強化し、改憲にNO!と の施政権がアメリカから日本に返還されて している。その現実を直視し、効率的に防 安全保障環境はこれまでにない速度で悪化 りませんか。 捻じ曲げさせることなく、連帯する仲間の お、変わっていません。憲法9条の理念を ても出撃・防衛拠点として在日米軍基地の すべき」として改憲議論を進めようとして 自民党は、「憲法改正により自衛隊をき

### 春闘 のたたかいについて

場全体でたたかいをつくり出していく▼ 価値観を一致させ、要求実現に向けて職 場と社員に「定期昇給カット」として押 ▼22春闘勝利に向けて、赤字の責任を現 総括し、会社への怒りとJR東労組への たたかいをつくり出す▼21春闘を敗北と し付ける<br />
ことは断固許さない。<br />
職場から

委員の主な発言

定期昇給カットには納得感がないどころ か怒りを感じた。施策を担うのは私たち をつくっていく。 組合員でたたかいを推し進めていく組織 めてきた。21春闘を総括し、最後まで全 だ。低相場の社内世論形成を阻止してた 題である方針を待つ姿勢ではなく、自分 たかいをつくっていく▼18春闘からの課 たちで運動をつくり出していく議論を深

## 組織強化・拡大に向けて

精神が重要だ▼「自分にとってのJR東 いう人が増えている。ヒューマニズムの がりが希薄となり、自分さえよければと た際には組織総体で守っていく。横の繋 体で関わりをつくり出し、拡大が実現し を議論してきた。一人ではなく、組織総 ▼なぜ組織拡大が重要なのかということ | そのことを語れる組合員を増やしていく | JR東労組に対 労組」を明確にすることが重要であり、 み上げてきた労働協約は財産だ▼21春闘 ことが必要だ。JR東労組として35年積 加していた。そのことを改善していかな きた。分裂前は、いつも声を掛けやすい ければならないという意見をもらった。 以降、未加入者への呼びかけも意識して 人にしか声を掛けず、同じ人ばかりが参

すことができた。LINEでのやり取り 輩からの指摘を受けて分会運動を捉え返 でいるのか。一致できているのか」と先 ければならない 負託にこたえられる組織になっていかな いうことだ。現場の仲間の本音を掴み、 だけではなく直接声を掛けることに拘っ ▼「組合員の現実を掴ん して変化を求めていると

其田洋輔 (盛岡地本) 畠山 翔(秋田地本) 大山貴聡(仙台地本) 吉田浩美(水戸地本) 竹内 靖 (千葉地本) 黒田弘樹(東京地本) 遠藤慶宣(営業部会)

発言した委員(順不同・敬称略) 染矢和哉(横浜地本) 中里曜祥(八王子地本) 鵜野経洋(大宮地本) 清水崇之 (新潟地本) 曲尾優一郎(長野地本)